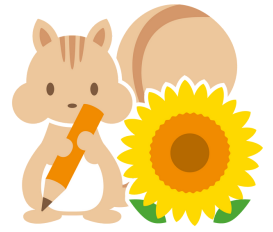


おたより

まなびチャイルド



卒園までに目指す力

✎ 認知的な力：

- ひらがなの読み書き（身近なことばに親しみ、書いて伝える楽しさを感じる）
- 10までの数の構成（ものの数を数えるだけでなく、分けたりまとめたりする体験）
- 図形の理解と論理的思考（実際に手を動かして試みることで、物事を順序立てて考える力を育てる）
- 時計の読み（〇時／〇時15分／30分／45分を通じて生活感覚を育てる）
- 音読発表（みんなの前で自信を持って伝える力と、聞く力を同時に育てる）

★ 非認知的な力：

- 最後までやり切る粘り強さ
- 自分の気持ちをコントロールする力
- 相手の話を聞き、自分の考えを表現する力
- 小さな成功体験の積み重ねによる自己肯定感の育成

年中クラス：7月～9月の目標

この時期は「自分で身支度をする事」を目標に、プリントの準備や筆記具の管理など、自立の第一歩に取り組んでいます。

✎ 認知的な力：

- 丸・三角・四角などの基本的な形を描く練習（特に斜め線）。図形に親しむことは、空間認識や手先の巧緻性にもつながります。
- 「同じ数のものを探す」「5までの数の構成」などを遊び感覚で行い、数量の感覚を育てます。
- 言葉の音の数を数える活動や、同じ絵を探すなどの遊びを通して、音への意識や注意力を楽しく高めていきます。

これらの活動を通じて、「数」や「形」への興味を広げたり、言葉を耳で捉える感覚を育てたりすることが、小学校での算数・国語の学びに自然につながっていきます。

年長クラス：7月～9月の目標

より高度な課題に取り組み、小学校に向けた準備を本格化させています。学習の中に「考える」「選ぶ」「伝える」機会を多く設け、理解を深めています。

✎ 認知的な力：

- 「え／へ」「お／を」などの使い分けを通して、ことばの正確さと意味の違いを体験的に学びます。
- 情報の取捨選択を行い答えを導く「スキャンプリント」で、集中力と論理的思考を育てています。
- 等分や分ける活動を通じて、「同じに分ける」体験から割り算的な考え方の基礎を自然に身につけていきます。
- 時計の読みと数字パズルを通じて、日常生活と学びをつなげる力を養っています。
- 音読発表に向けたひらがなの読み練習では、リズムに乗せて読む楽しさや表現力も育てています。

これらの学びは、小学校で求められる「聞いて考える」「書いて伝える」学習態度の基礎を築く大切なステップとなっています。

次回のお知らせは秋を予定しております。これからもお子さまの成長の歩みに寄り添いながら、楽しく力強い学びを続けてまいります。